

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会福祉審議会第31回(平成29年度第5回) 高齢者福祉等専門分科会				
事務局 (担当課)		保険高齢部 高齢政策課 電話042-769-8354(直通)				
開催日時		平成30年3月28日(水)午後3時30分~午後4時30分				
開催場所		相模原市立総合学習センター2階 セミナールーム				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	7人(保険高齢部長、高齢政策課長他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 第7期相模原市高齢者保健福祉計画について (2) その他 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

社会福祉審議会高齢者福祉等専門分科会長あいさつ

3 議題

(1) 第 7 期相模原市高齢者保健福祉計画について、事務局より内容を説明し、質疑応答を行った。

質疑・意見等

住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の必要量を算出するうえでも、ひとり暮らし高齢者のうち、低所得者層がどの程度なのか、把握しているか。

ひとり暮らし高齢者の低所得者層は把握していないが、介護保険料の算定において、第 1 号被保険者の所得段階のうち、最も所得が低い第 1 段階は、全体の 15 パーセント程度と把握している。

市営住宅に入居できない高齢者は、民間の賃貸住宅に入居している。高齢者では 1 年間で更新が必要となり、更新料をその都度支払う必要がある場合が多く、ひとり暮らし高齢者にとっては、経済的な負担も大きい。

高齢者に限らず、孤独で過ごす人が増加している傾向がある。そのことを今後は課題として、取組を進めていく必要がある。

高齢者のみならず、住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の供給促進を進めていくとともに、居住支援協議会の設置等を検討し、入居支援を行っていく。

介護保険料は、いつまで上がり続けていくのか。

自立支援、介護予防・重度化防止を推進し、元気な高齢者を増やしていくことで、給付費を削減していきたいと考えている。

高齢者が増えることにより、給付費が増加するという面だけではなく、元気な高齢者が増えているという面をプラス要素として、経済を見ていくべきとの学会での意見もある。

障害者認定を受けている方は、65 歳以上になると介護保険制度が優先となる。同行援護などは、障害サービスとしてしかできないため、そのような現状をよく把握してほしい。

(2) その他

今後の開催予定について、事務局から説明を行った。

4 閉会

以上

相模原市社会福祉審議会 高齢者福祉等専門分科会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	出欠席
1	相 澤 由 美	相模原人権擁護委員協議会	出席
2	石 井 正 彦	相模原市自治会連合会	出席
3	石 黒 雄 彦	相模原市老人クラブ連合会	出席
4	大久保 祐 次	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	出席
5	梶 川 義 人	淑徳大学短期大学部	出席
6	菊 池 剛	相模原市歯科医師会	出席
7	佐 藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会	欠席
8	島 森 政 子	特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	出席
9	鈴 木 秀 美	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会	出席
10	戸 塚 英 明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席
11	原 裕 子	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
12	渡 辺 雅 治	相模原公共職業安定所	欠席

(敬称略、50音順)

は専門分科会長、 は職務代理者